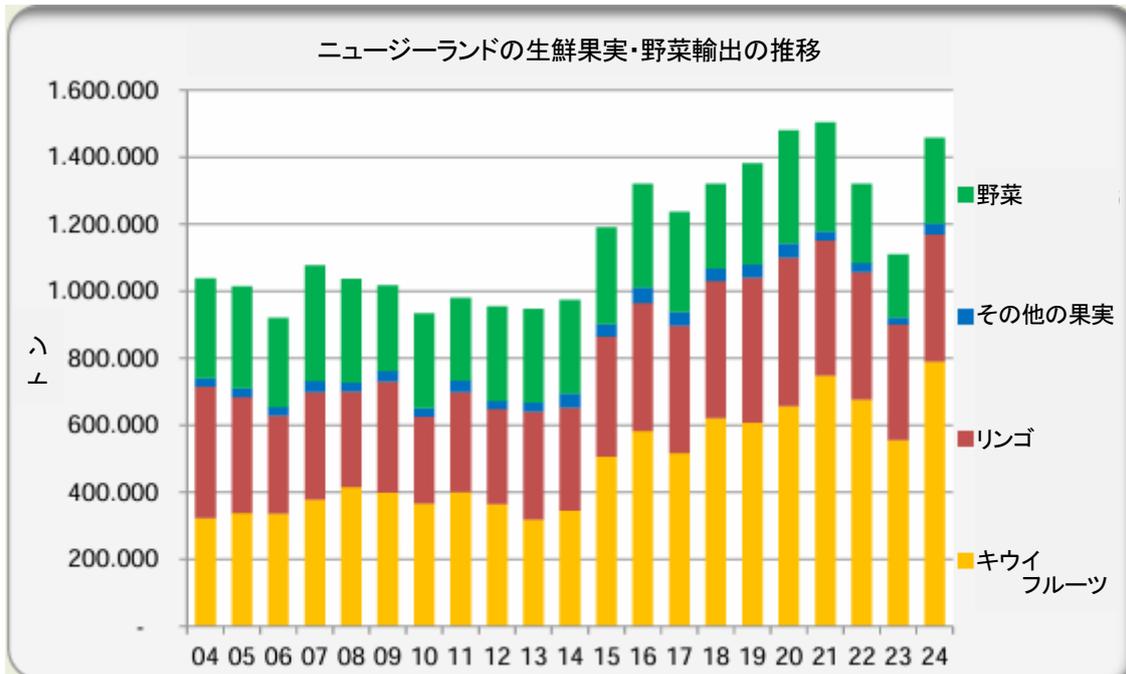


## ニュージーランド 果実と野菜の輸出が回復

[Fruit & Vegetable Facts 2025年2月](#)

### 輸出額は30億米ドル

ニュージーランドの果実と野菜の輸出は、過去2年間の減少から回復した。2023年の早い時期(2月)にサイクロンが全国に甚大な被害をもたらし、その結果、同年には輸出が激減した。しかし、昨年(2024年)の輸出量は2021年の記録的な水準をわずかに下回ったに過ぎない。



昨年の果実と野菜の輸出量は合計146万トンで、2023年と比較して30%増加した。2021年の輸出量は150万トン強であった。輸出額では、2024年は記録的な年で、輸出総額は30億米ドル強であった。

### 3分の2がキウイ

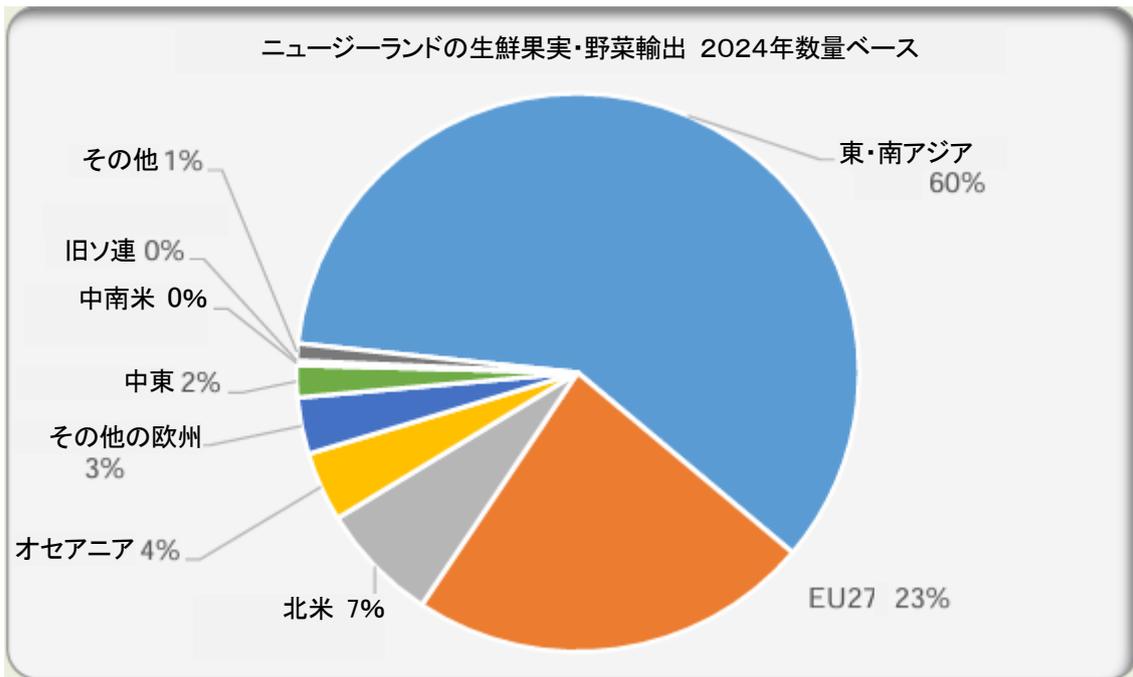
ニュージーランドの果実と野菜の輸出は、主にキウイフルーツによって推進されており、海外で販売されるすべての果実の3分の2を占めている。リンゴがそれに続き、輸出量の30%強を占めている。他の果実の輸出量はこれらと比べて少ない。

昨年は生鮮野菜の輸出も回復し、2023年のわずか19万トンから38万トンに増加した。2021年の生鮮野菜の輸出量は73万トンに達していた(原文のまま)。タマネギが主な輸出野菜で、カボチャとニンジンがそれに続く。

### 東・南アジアへの輸出が最も多い

東アジア・南アジアはニュージーランドの果実と野菜の輸出の主要市場であり、近年では全体の約60%を占めている。2022年まで、この地域はますます重要性を増し、EUへの輸出は減少した。最近では、輸出の約4分の1がEU向けで、以前と比べて減少している。絶対量で見ると、昨年は東・南アジアに86万7千トン、EU諸国に33万8千トンが輸出された。北米はこれに続き、輸出量は合計10万トンであった。

ニュージーランドの輸出データでは、EUへの出荷の約80%について、個別の国が特定されていない。「EU nes」(その他のEU)の分類は、ニュージーランド産品の主な輸出先と見なされているベルギーを主に指していると考えられる。中国も主要市場であり、日本が少し離れてそれに続き、その後、台湾、米国、ベトナム、韓国、英国、オーストラリア、インドが続く。

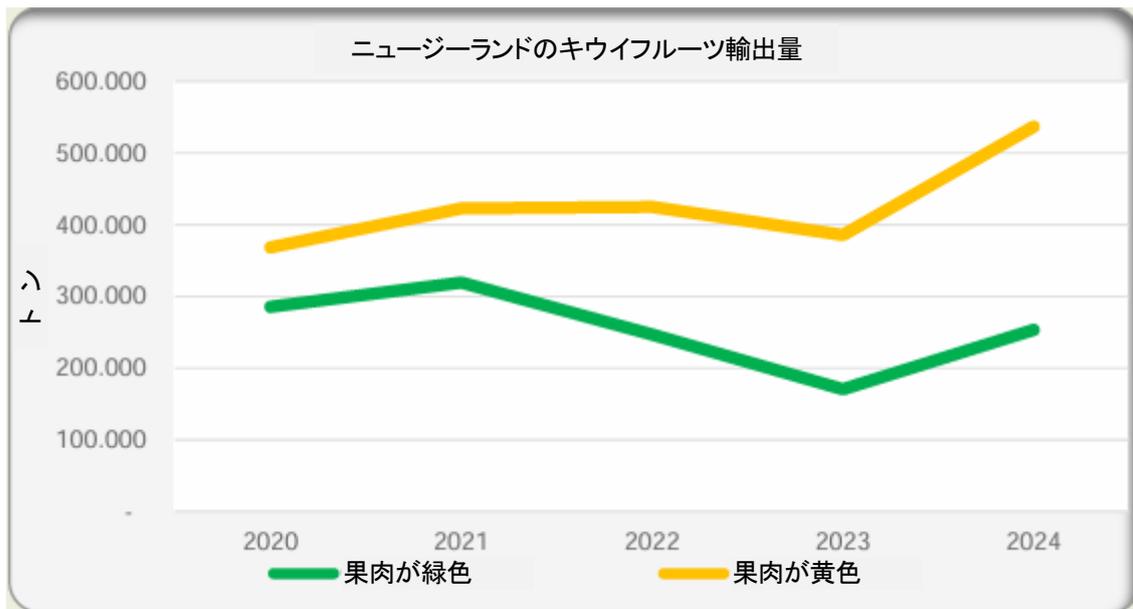


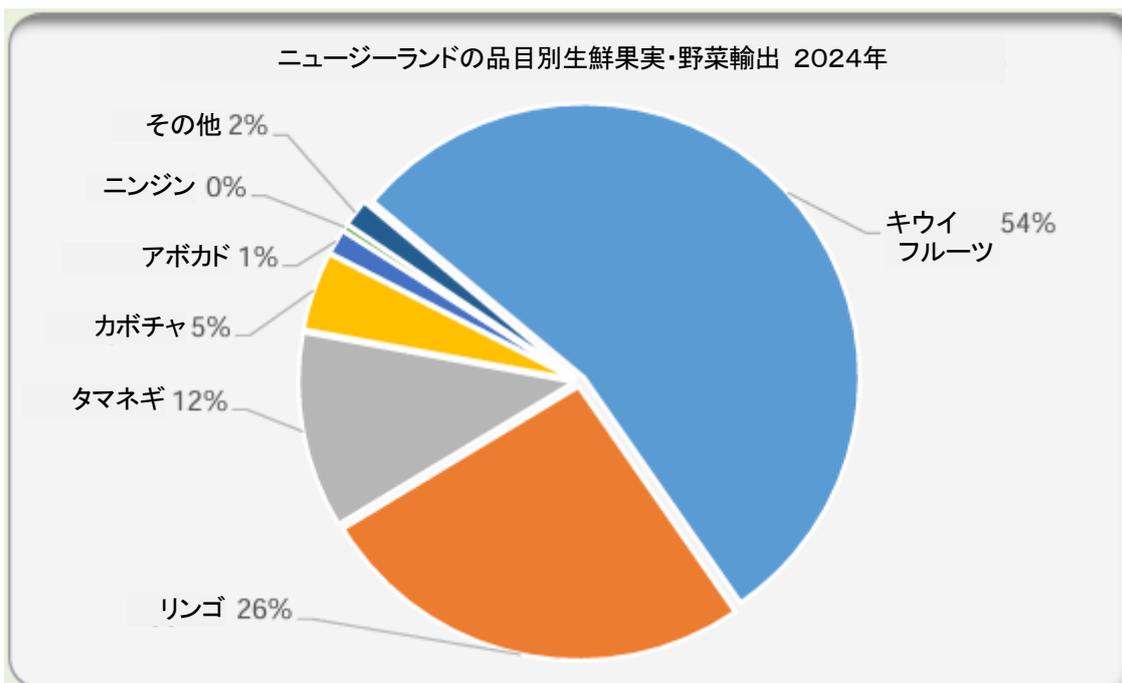
### 記録的なキウイ輸出

ニュージーランドのキウイフルーツの輸出は、2022年と特に2023年に急激に減少した後、昨年は完全に回復し、2023年と比較して40%以上の増となる79万トンの新記録を樹立した。これまでの記録は74万トン以上が輸出された2021年のものであった。

キウイフルーツについては、多くがEU(主にベルギー)に輸出されており、中国、日本、韓国、米国、台湾、オーストラリアがそれに続く。

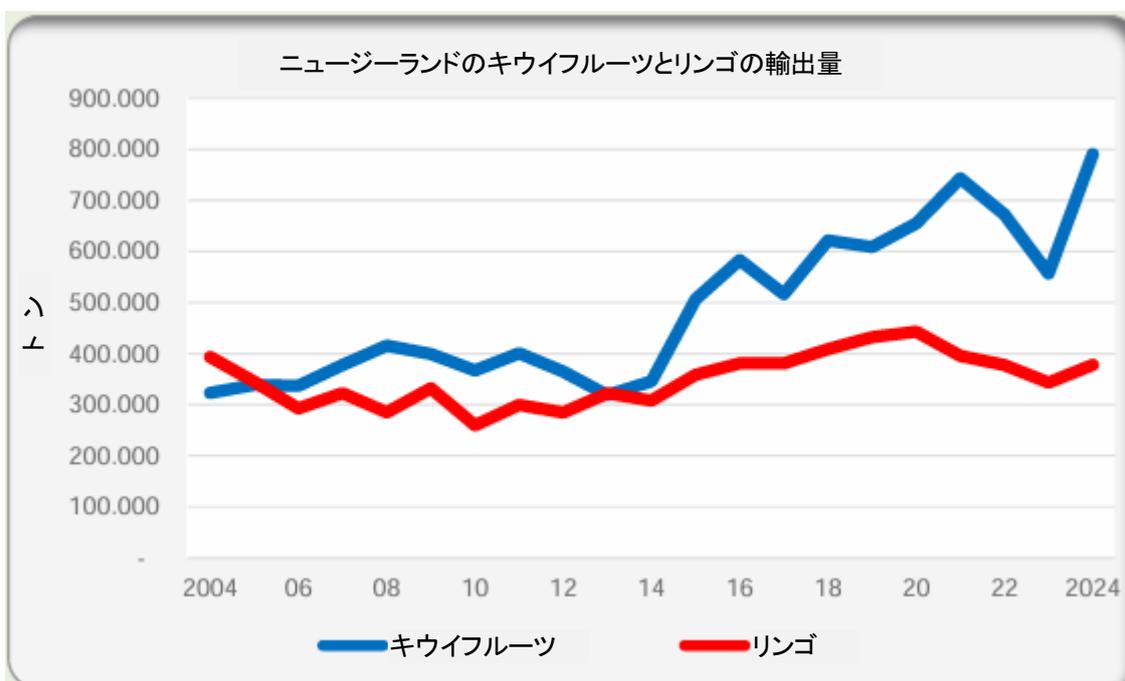
現在、キウイフルーツの輸出の3分の2はゴールド品種である。この果肉の黄色いキウイは、中国(同国への総輸出の91%を占める)と韓国(同81%)で特に人気がある。EUへの輸出では、果肉が黄色いキウイと緑のキウイの比率はほぼ半々である。



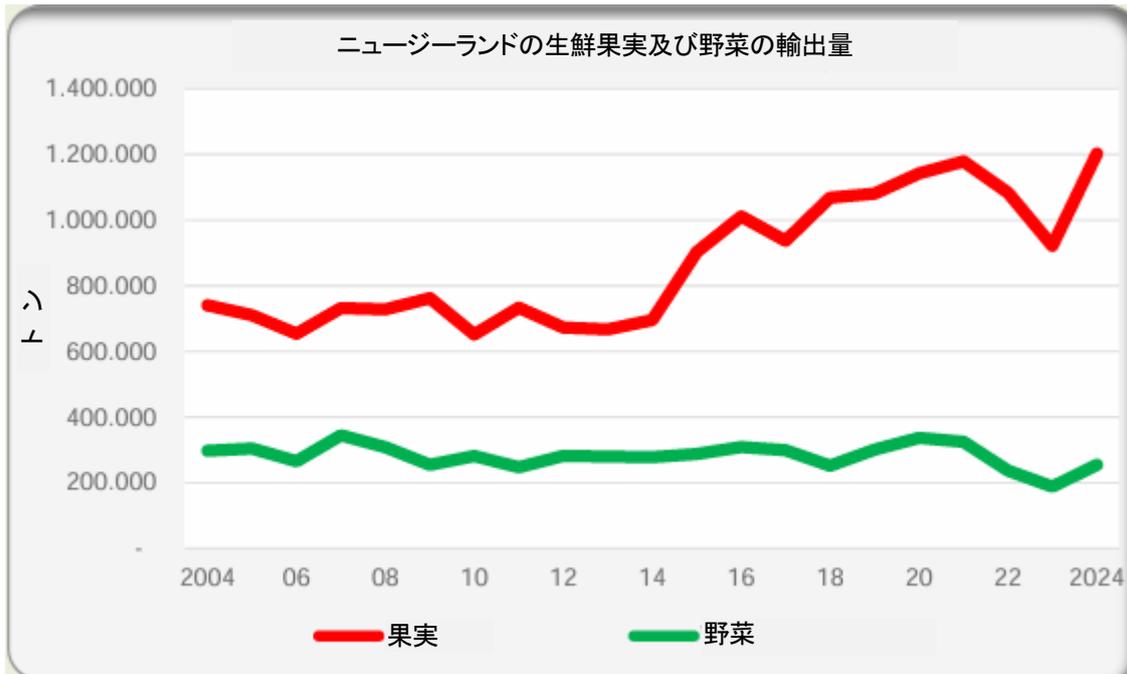


### 多くのリンゴが中国へ

ニュージーランドのリンゴの栽培面積は、2024/25年度シーズンに1万1千ヘクタール以上に拡大すると予想されている。2023年にはサイクロンにより、ホークスベイ地方やギズボーン地方等、主要産地のリンゴ園に甚大な被害が出た。被害の大部分は復旧されたが、このセクターは依然として債務返済の負担を負っている。2024/25年度のリンゴの収穫量は56万トンと推定されている。



昨年のリンゴの輸出量は2022年の水準に戻り、2023年より10%多い合計38万トン弱となった。特に中国への輸出は増加が続いており、2023年の4万7千トン、2022年の6万トンに続き、昨年は7万トン以上に増加した。ベトナムと台湾がこれに続き、英国は昨年3万2千トンを入力した。インドも大幅な伸びを見せ、輸出量は3万トンを超えた。タイ、米国、香港、オランダ、ドイツがそれに続いた。ニュージーランドは昨年、1万4千トンのリンゴをオランダに輸出し、これは2023年よりは少ないが、その前年よりは多い。



### リンゴ品種の輸出拡大

ガラは依然として輸出されるリンゴの主要な品種であり、2023年の落ち込みからは回復したが、以前よりは少なくなった。エンヴィイは第2位で、輸出量は昨年も増加が続いた。第3位のふじもガラと同様で、反発したものの、以前の水準を下回った。ピンクレディーの輸出は比較的安定していた。ニュージーランドクイーンがこれに続き、ダズルの輸出は増加したが、ジャズの輸出は引き続き減少した。一方、ロキットは増加した。

好まれる品種は国によって大きく異なる。中国とベトナムは主要な品種をすべて輸入しているが、台湾はふじを大量に輸入している。英国は、かなりの量のプレバーンとピンクレディーを輸入している。エンヴィイは、米国で高い需要がある。オランダは、ガラに加えてピンクレディー、プレバーン、ジャズを大量に輸入している。

その他の輸出果実は、アボカド(2万トン)、サクランボ(4,500トン)、ナシ(2,100トン)、ブルーベリー(2千トン)等である。(以下、野菜について省略)

### ニュージーランドの生鮮果実・野菜輸出(トン)

出典: NZ統計庁	2005	2010	2015	2021	2022	2023	2024	+/- %
世界	1,014,464	933,077	1,190,232	1,503,314	1,320,686	1,109,565	1,456,909	+31%
東・南アジア	368,124	373,846	587,062	824,881	788,502	660,259	866,711	+31%
	36%	40%	49%	55%	60%	60%	59%	
EU27	406,385	336,485	360,995	411,846	326,766	250,611	337,966	+35%
	40%	36%	30%	27%	25%	23%	23%	
北米	62,723	77,618	65,437	89,930	82,487	85,380	100,787	+18%
オセアニア	47,160	49,181	53,763	58,539	51,027	39,171	58,696	+50%
その他のヨーロッパ	115,654	69,601	64,592	52,589	29,044	34,984	47,732	+36%
中東	7,242	11,841	31,939	29,416	24,427	20,583	26,981	+31%
中南米	2,348	4,431	3,422	2,846	2,813	2,702	3,753	+39%
旧ソ連	754	4,286	9,221	20,559	4,843	5,395	55	-99%
その他	4,074	5,788	13,801	12,707	10,776	10,480	14,228	+36%

(他の統計表は省略)

執筆者: ヤン・ケース・ボーン 出典: [Fruit & Vegetable Facts](#) (出典の本文はオランダ語、図表は英語)

※ この記事及びリンク先の記事、データの転載には [Fruit & Vegetable Facts](#) の許可が必要です。  
 翻訳に当たっては、[FreshPlaza \(2025年2月25日\)](#) の英文記事を参考にしました。